

学級開きで担任が伝えることリスト（2年生編）

★姿勢を正す

○「誰とでもチームになれる力をつける」

- 中にはクラス替えに不満のある人がいるかもしれない。
- しかし、それを言葉や態度に出すことはやめてほしい。
- 学級にとっても、自分自身にとってもプラスにはならないし、不用意に誰かを傷つけてしまうことだってある。
- 社会に出てからも自分がどんな集団に所属し、誰と仕事をするのかは選べないことの方が多い。
- それでも、出会った人たちと協力し、一緒に課題を乗り越えていく。
- だからこそ、学生の時から「誰とでもチームになれる力」をつけておくのはとても大切なこと。
- せっかく巡り会えたクラスメイト。このメンバーの中で自分をどう磨いていくのか前向きに考え、1年後に全員が「このクラスで良かった」と思えるようになってほしい。

○「主体性を持つ」

○「“先輩”としてのプライドを持つ」

- 新しい生活を始める上で、みなさんに理解してほしい大切なことがある。
- それは、「充実した学校生活を送れるかどうかは、自分次第である」ということ。
- 学校は自宅のようなプライベートな場所とは異なり、そこで集団生活をするわけだから、もちろん楽しいことばかりではないし、様々な制限や面倒なことだってある。
- しかし、そんな学校だからこそ体験できることや、学べることがたくさんある。
- 特にみなさんは、これから先輩として後輩を迎え入れ、半年後は学校の中心的存在になる。
- これは人として成長できる大きなチャンス。
- 自ら考え、行動していくことで、後輩から尊敬される先輩になってほしい。

○「担任としての覚悟を示す」

- これからの生活の中で、時には失敗をして私に注意されることがあるかもしれない。
- 特に、意図的に周りへ迷惑をかけたり、誰かを傷つけたりするようなことがあれば、私は本気で指導する。
- その時は素直に反省し、同じ失敗を繰り返さないようにすればいい。
- 私は今後どんなことがあっても、担任として最後までみなさんを見守り、関わり続けていく。
- 1年後、ここにいる全員が自分の成長を実感し、自信を持って次のステージに挑戦していけるよう、心から応援している。